

トヨコ通信

ホムペ -ジ
e-mail

http://www.sasada-toyoko.jp/
sanbal@sasada-toyoko.jp



2004年 2月号

発行 : 日本共産党笹田トヨコ後援会
発行日 : 2004年 1月30日 第17号
連絡先 : 大垣市鳩部屋町41
日本共産党大垣市後援会
Tel 74-3449 Fax 73-8572

日本共産党23回党大会に行ってきました！

1月13日から日本共産党23回大会が開かれ、私は代議員として出席しました。党大会5日間の様子をお知らせします。

行ってみなければ分からないこと

会場は、伊豆の学習会館で、熱海駅から2つ目の伊豆多賀駅で降りて、30分ぐらい山を登ったところにあります。建物は鉄骨がそのまま見える質素なもの。しかしそこに1000人以上の代議員と大会役員・スタッフそして国内外の来賓者の熱気であふれていました。



印象に残ったのは特に山登り、急な斜面を登っていき、もう限界と思ったところで学習会館に到着。高齢者や病弱な方など希望すれば車で行くことができます。地元の党員の人や協力者の人が、要所要所で道案内に立ち、励ましてくださいました。この山登り、5日間も大丈夫かなと不安がよぎるが、終わってみれば、久しぶりによく運動したという快感が残りました。

世界各国から来賓者多数！

初日、外国からの来賓者の紹介がありました。14カ国24名、また14の大使館の15名も参加され、国際色豊かな大会でした。共産党の野党外交が突って、今まで交流のなかったイスラム諸国からも、また長年途絶えていたアメリカ共産党からも参加。ソ連が解体し、その重石が取り払われ、ソ連の干渉と闘ってきた日本共産党の大会、特に綱領の改定という歴史的な党大会を正面から受け止めようという関心の高さの現れを実感。来賓の多くの方々は、5日間最後まで参加されていました。

青年のガンバリが目立った大会

代議員1013人、その内青年は約1割、しかし発言者は多く、青年の頑張りが目立ちました。イラク戦争反対の闘いに多くの青年が参加したこと、本当に変えなければならないこの日本社会の問題は何か等、いきいきとした青年の活動報告がありました。彼らの話を聞いていて、70年安保の私の青春時代を思い出していました。

43年ぶりに共産党綱領の改定を行いました。

今回の党大会の主要なテーマは、綱領の改定でした。綱領とは、政党が何を目標に活動しているのか、この日本をどう変えようとしているのか、そのみちすじを明らかにしたものです。

共産党は、43年前に決めた綱領を発展させ、今回全面改定となりました。しかし、43年前に規定した日本の「対米従属」は今ますます鮮明になってきています。

日本共産党はどのような社会をめざしているのか！

私が議員になってから、何人かの方から善意で「党名を変えたほうがよい」というアドバイスをいただきました。「共産主義・社会主義」といった言葉に、旧ソ連とか、今の北朝鮮をイメージされる方もあるかもしれませんが、日本共産党が言う「社会主義・共産主義」の未来社会とは全く無縁のもので、最も厳しくソ連や北朝鮮と闘ってきたのは日本共産党でした。日本共産党のめざす未来社会は、今の北朝鮮のように、また戦前の日本のように、誰か特定の人だけが得をする特権階級はありません。みんな自由で平等です。また今の資本主義の社会のように、資本のあるものはより金持ちに、金のないものはより貧乏にといった貧富の差は生まれません。生産者が主人公となり、生産量が豊かになれば、それだけ労働時間が減り、人々はより自由時間が増えて、人間の全面発達に使えます。

日本共産党は議会制民主主義を大切にします。

未来社会への辿り方も、一足飛びに社会主義・共産主義の社会に行くわけではありません。まず今の国民が苦しんでいる大元を取り除く事業を行うことが大事で、大企業・財界の横暴やアメリカの対日支配にメスを入れる事業が必要になってきます。そして、議会制民主主義を通じて、国民の大多数の支持を得て、その政策を実行し、民主主義的なルールを確立していきます。議会制民主主義を通して行うのは、社会主義・共産主義の社会になっても同じです。

以上のような内容が、日本共産党の綱領に書いてあります。ご希望される方はお届けしますので是非お読みください。

12・23教育基本法改悪反対全国集会

日比谷公会堂で行われた教育基本法改悪反対集会に参加しました。全国から教育基本法の改悪に危機感を持った人たちが集まり、2000人の会場に4000人が集まり、人が外にあふれるという近來まれに見る集会になりました。教育や子どもの人権に関わる草の根の運動が各地から報告され、元気付けられました。



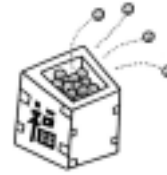
翌日は、都教組の先生から、憲法や教育基本法の改悪を先取りした石原都政の「教育改革」について話を聞き、唖然としました。また、今回は、「学校選択制の自由化」と「学力テストの公表」について、実施している荒川区の教育委員会の視察も行いました。（東京にて）

トヨ子通信

笹田トヨ子市政報告会

日時 2月11日(祝) 15時より

場所 綾里地区センター



憲法9条に違反する 自衛隊イラク派兵

「国際貢献」というけれど実はアメリカへの貢献で、イラク「人道支援」というけれど本当は米軍支援。
日本は平和憲法のもと、戦後一貫して「戦争しない国」として国際的信頼を勝ち得ていたのに、その平和憲法を踏みにじり、「戦争する国」にしてしまう自民・公明・小泉内閣の責任は重大。今からでも遅くはない。ここで私たちが反対の声をあげなければと街頭に立つ。

・ボランティアスタッフ 活躍中～す！

「何か手伝えることあったら言うてや」と申し出てくださったSさん。ご本人いわく「口八丁手八丁」の元気とフットワークの軽さを生かしてお手伝いをしてくださっています。市営住宅問題を始め、ちょっとこれ調べたいということがあり「まかしといて」と言って調べてきてくださり、トヨ子事務所の大変大きな力となっています。

他にもこの「トヨ子通信」を編集・印刷して下さっているIさん、一般質問の打ち合わせに参加して下さったKさん、環境問題の相談にのって下さるYさんや教育問題のTさんなど、さまざまな方面で手を貸して下さる方々が少しずつ増えてきました。本当にありがとうございます。今後とも多くの市民と力をあわせて開かれた市政を進めていきたいと思います。

・みんなで検討しました 合併問題学習会

昨年12月から1月にかけて、合併協議会が市民を対象に合併の説明会を行っています。もうご参加されましたか？「説明会に行っても何を質問していいのかわからない」「垣老どうなるのか聞きたいけど、どうやって聞いたらいいのかわからない」といった皆さんからの声にお応えして、後援会では合併問題学習会を開きました。急な呼びかけでしたが、小さなお父さんもお母さん、年金者の方、自営業の方など、4名の方が集まってくれました。

乳幼児医療費助成・保育料・学校給食・市営住宅の家賃・都市計画税・事業所税・国保料・垣老など、それぞれが持ち寄った疑問や、こうして欲しいという要望が合併でどうなるのかを合併協議会のパンフレットや資料と照らし合わせながら検討しました。

その中で、財政計画に大きな問題点があることがわかってきましたが、説明会では「どういうことをしてくれるのか」ではなく「こういうことを欲しい」という要望や要求を率直にぶつけていくことが大切やね、と確認しました。

・出前します

合併問題を皆さんに広く知っていただくために、ご要望に応じて出前学習会をします。2～3人でもOKです。いつでもご連絡ください。

(連絡先 0584-81-1383 笹田トヨ子事務所)

・知ってトクしよう！ 「就学援助制度」

先述のSさんが今回しらべてくださった成果です。正式には「要保護及準要保護児童生徒就学援助制度」といいます。大垣ではあまり知られていませんが、大阪などの大都市では5人に1人の児童・生徒が利用している大変ポピュラーな制度です。特に児童扶養手当を受給している母子家庭のお母さん、要チェックですよ！

援助対象になるのは、学用品費・通学費・通学用品費・新入学児童生徒学用品費等、体育実技用具費、修学旅行費、校外活動費、学校給食費、医療費(学校保健法による学校病のみ)です。

援助には要保護と準要保護の2種類があり、援助対象が異なります(準要保護は先に挙げた援助対象全てが該当します)。要保護の対象になるのは保護者が生活保護を受けている場合ですが、準要保護は保護者が14の要件のいずれか1つに該当していれば保護の対象になります。そのうちのいくつかをご紹介しますと、市町村民税の非課税が減免、個人の事業税の減免、固定資産税の減免、国民年金の掛金の減免、国保料の減免が猶予、児童扶養手当の支給などです。

こういった制度は申請主義をとっているため、市役所や学校が教えてくれるものではありません。制度を知って、賢く利用していきましょう。

・ボランティアスタッフ大募集！

笹田トヨ子事務所では、いろいろな調査や勉強会の企画・運営などのお手伝いをして下さるボランティアスタッフを大募集しています。ガソリン代や実費資料代などを支給させていただきます。ちょっとおもしろそうかも...と思われる方は、お気軽にお電話ください。

笹田トヨ子事務所

(連絡先 0584-81-1383)